

## 秋の展示 「古文書からの伝言」 其二 を開催中

おおがれいたろう  
(大賀禮太郎家文書整理速報展)

大賀家は、九州で最も古いといわれている本市にある造り酒屋です。江戸時代から酒造業を営み二日市村庄屋などを務めてきました。歴史博物館では、大賀家に伝わる大賀禮太郎家文書の整理を行っています。

今年のテーマは「旅」。

二日市には、多くの人々が遠く故郷を離れ出稼ぎにきていました。古文書に記された二日市の地で懸命に生きた人々の様子を中心に、新たに発見された事柄などのトピック展示を加えて紹介します。ぜひ取材ください。

### 見どころ

【稀！】1人の日雇い稼ぎ人の個人名と18日間の記録がまとまって発見。

【県内初！】「勤農太鼓」に関する古文書を発見（R03.10月現在）

（勤農とは明治政府が財政基盤強化のため行った農業政策です。）

【感動！】長い年月を経て、再び出逢った兄「幸千代（黒田長成）」と妹「順姫」

- 1 会 期 令和3年10月9日（土）～令和3年12月12日（日）
- 2 開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
- 3 休 館 日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日が休館）
- 4 場 所 筑紫野市歴史博物館 企画展示室
- 5 内 容

・旅に関する3つのコーナー「旅には許可が必要です」、「故郷を離れ働いた人たち」、「次平さんの仕事」と3つのトピック「幸千代と順姫兄妹」、「牛馬備金」、「農に励む」の6コーナーに分けて古文書を紹介します。

・古文書は環境の影響を受けやすく繊細なため、原史料をご覧いただける貴重な機会です。

※大賀禮太郎家文書は寄託史料ですが、古文書のアップさけていただくなどご配慮いただければ、展示状況の撮影は可能です。（古文書以外のパネル等の撮影は可）

古文書をアップにしての撮影は、寄託者（大賀禮太郎様）の許可が必要です。

### 担当部署・お問い合わせ先

筑紫野市 教育部 文化財課 博物館担当 （担当 高巢）

住所 筑紫野市二日市南1丁目9-1 / 電話 092-922-1911(内線81-401)

FAX 092-922-1912/E-Mail k-furusato@city.chikushino.fukuoka.jp

よろしくお願ひします



つくしちゃん